

「臨床泌尿器科」第79巻 総目次

2025 年（第 1 号～第 13 号）

数字は通巻頁数, () は号数, (増) は増刊号

特 集

●今のうちにしっかり理解

最新の前立腺癌診療と近未来予想図 (1)

企画にあたって

畠山 真吾……………5

〈診断〉

PSA を超えるバイオマーカー S2,3PSA%検査の実力

米山 徹……………6

ディープラーニングによる前立腺 MRI 自動診断

松岡 陽……………16

前立腺癌病理診断と人工知能—現状と今後の課題

木村 剛・赤塚 純・近藤 幸尋……………24

〈治療〉

監視療法における MRI, バイオマーカーの有効性

加藤 琢磨……………34

手術支援ロボット da Vinci single port を用いた経膀

膵的前立腺全摘除術

全並 賢二・竹中 政史・白木 良一……………40

触覚を有する国産外科手術支援ロボット Saroa

による前立腺全摘術の初期経験

岩谷 洸介・藤尾 圭・三木 淳……………48

高リスク前立腺癌に対するネオアジュバント

内分泌化学療法を用いた手術療法

米山 高弘・山本 勇人・畠山 真吾……………56

前立腺癌の放射線治療と今後の課題

前林 俊也……………64

転移を有する前立腺癌へのアップフロント

治療時代における局所介入

寺田 直樹……………72

〈診断と治療〉

前立腺癌の治療戦略における Geriatric Assessment

(GA) の活用

矢嶋 習吾・増田 均……………76

PSMA-PET と PSMA-RLT を用いた

前立腺癌の診断と治療

泉 浩二……………82

●いま、ウロギネコロジーが熱い！

—魅惑のサブスペシャリティ (2)

企画にあたって

野村 昌良……………107

ウロギネ領域におけるウロダイナミックスタディ

吉尾 裕子・東郷 未緒……………108

婦人科疾患を除外するための必要な検査

奥野 さつき……………114

難治性過活動膀胱の治療

小田 瑞・新井 隆司……………120

尿失禁手術 (TVT 手術と TOT 手術)

楢田 知子・原田 成美・福島 結美・楠木 横

竹山 政美……………126

ORIHIME®を用いた TVM 手術

岡田 義之・野村 由紀子・嘉村 康邦……………134

腹腔鏡下仙骨腔固定術 (laparoscopic sacrocolpopexy :

LSC) を安全かつ確実に行うために

三輪 好生・菊地 萌未……………142

岬角に固定しない腹腔鏡下骨盤臓器脱手術

栗山 萌子・渡邊 純子・野村 昌良……………150

vNOTES を用いた骨盤臓器脱手術

永榮 美香・林 篤正・野村 昌良……………156

ロボット支援下仙骨腔固定術

(robot-assisted sacrocolpopexy)

森山 真吾……………162

腹腔鏡下膀胱腔瘻閉鎖術

林 篤正・野村 昌良……………170

Genitourinary syndrome of menopause (GSM)

沢田 勇吾……………178

●シン・泌尿器科当直医マニュアル〈入院編〉(3)

企画にあたって

小島 祥敬……………200

術後疼痛

井上 聡己……………202

術後イレウスと腸閉塞・腹痛

田中 慶太郎・長船 崇・市場 文功……………210

せん妄

久保 馨彦・竹内 啓善……………216

術後脳梗塞

小林 英一……………226

泌尿器科領域手術後の心筋梗塞・重症不整脈

(胸痛・動悸)

中川 義久……………232

術後肺血栓塞栓症・無気肺・肺炎 (呼吸困難・胸痛)	元島 崇信・神波 大己……………383
齋藤 好信……………238	免疫チェックポイント阻害薬
開放手術・術後出血(術後血圧低下)	五十嵐 大樹・北野 滋久・小原 航……………389
種子田 勇樹・森 啓一郎・木村 高弘……………244	BCG 膀胱内注入療法
ロボット手術後(副腎・腎手術)出血	西山 直隆・桧山 佳樹・北村 寛……………395
後藤 景介・日向 信之……………248	発熱性好中球減少症
前立腺・膀胱に対するロボット支援手術後の出血	井上 貴博……………400
古家 琢也・中根 慶太・飯沼 光司……………254	●激動! 膀胱癌薬物治療(6)
術後血尿(経尿道的前立腺手術・膀胱腫瘍手術後)	企画にあたって
西村 伸隆・三宅 牧人・藤本 清秀……………260	小林 恭……………425
TUR 症候群	膀胱癌薬物療法の歴史
黒川 覚史・神沢 英幸・安井 孝周……………266	北村 寛……………426
抗がん薬化学療法中の発熱・嘔吐	〈膀胱癌のバイオロジー update〉
篠井 亮太・北野 剛士・小島 崇宏……………272	膀胱癌病理の update
尿道カテーテル留置・抜去困難および膀胱刺激症状	都築 豊徳……………434
沼倉 一幸……………280	膀胱癌の分子サブタイプ分類と臨床応用の展望
●シン・泌尿器科当直医マニュアル〈外来編〉(5)	齊藤 亮一……………442
企画にあたって	〈膀胱癌薬物療法各論〉
小島 祥敬……………304	化学療法耐性患者に対する
腎外傷	二次免疫チェックポイント阻害薬治療
南 高文・藤田 和利……………306	角谷 成紀・久米 春喜……………448
腎梗塞	化学療法後の維持免疫チェックポイント阻害薬治療
中根 明宏・富山 奈美・安井 孝周……………313	早川 望・菊地 栄次……………454
急性腎盂腎炎・敗血症	化学療法・免疫チェックポイント阻害薬治療後のエン ホルツマブ ベドチン
加山 恵美奈……………319	三宅 牧人・西村 伸隆・藤本 清秀……………460
急性前立腺炎	FGRF 阻害薬(エルダフィチニブ)による新規治療
東郷 容和・山本 新吾……………325	畠山 真吾……………468
尿管結石・疼痛発作	尿路上皮癌国際共同第Ⅲ相試験における日本人部分 集団解析の意義とは?
納谷 幸男……………330	松原 伸晃……………474
肉眼的血尿・膀胱タンポナーデ	転移性尿路上皮癌の一次薬物療法の パラダイムシフト
内藤 整……………337	河原 貴史・西山 博之……………478
膀胱・尿道外傷(骨盤外傷)	尿路上皮癌に対する周術期術後薬物療法の パラダイムシフト
井上 高光……………342	河嶋 厚成・野々村 祝夫……………484
尿閉	新規薬剤開発の展望
東武 昇平・前田 晃宏・野口 満……………349	加藤 実……………490
陰茎絞扼症・嵌頓包茎	●神経因性膀胱の診断・治療, そしてケア
白石 晃司……………355	—患者さんの悩みに対峙する(7)
持続勃起症	企画にあたって
福原 慎一郎・上田 倫央・竹澤 健太郎……………361	東武 昇平……………511
急性陰囊症(精巣捻転・急性精巣上体炎など)	〈診断〉
西尾 英紀・水野 健太郎・林 祐太郎……………365	神経因性膀胱診断のオーバービュー—診断の進め方 のキホン(それって本当に神経因性膀胱ですか?)
フルニエ壊疽	高橋 良輔……………512
井上 幸治……………372	
カテーテルトラブル(腎瘻・尿管カテーテル)	
吉村 耕治……………378	
〈がん薬物療法の副作用〉	
分子標的薬	

〈薬物療法〉		次世代機“LUNA™”の展望	
薬物療法のキホン—これがスタンダード		金子 剛・城武 卓・小山 勇	644
吉澤 剛・高橋 悟	518	〈ロボット支援手術の困難症例に対するベネフィットとピットフォール—解剖および基本操作と事故予防に関して〉	
神経因性下部尿路機能障害に対する薬物療法のスイッチングとアドオン		副腎摘除術	
赤井畑 秀則・松岡 香菜子・秦 淳也	524	坂本 信一・佐藤 航大・山田 康隆	
神経因性排尿筋過活動に対する		今村 有佑	650
経尿道的ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法		腎部分切除術	
澤田 智史・吉良 聡・三井 貴彦	530	古川 順也・佐々木 雄太郎・布川 朋也	658
〈神経変調療法〉		腎摘除術	
仙骨神経刺激療法		成田 伸太郎	666
橘田 岳也	536	ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術	
〈手術療法〉		原田 淳樹・大庭 康司郎・今村 亮一	676
腸管利用膀胱拡大術—導尿路の話題も含めて		ロボット支援下腎尿管全摘除術の勘所	
前田 晃宏・東武 昇平・野口 満	542	増田 均	682
膀胱皮膚瘻—どのような患者さんが対象になる？		ロボット支援膀胱全摘除術—定型化による手術教育	
里地 葉	552	渡邊 梨紗子・藤村 哲也	688
膀胱頸部機能不全に対する手術		仙骨腔固定術	
日向 泰樹	558	持田 淳一・吉澤 剛・高橋 悟	694
〈神経因性膀胱患者に対するケアを学ぼう〉		ロボット支援前立腺全摘除術	
神経因性膀胱患者に対するカテーテル管理—カテーテル管理のキホンは？		野原 素直・青木 啓介・吉岡 邦彦	700
藏田 彩・魚住 二郎	562	●ロボット支援手術 Two Step Up (9)	
神経因性膀胱患者に対するおむつ管理のコツ		企画にあたって	
尾下 美保子	568	近藤 幸尋	727
神経因性膀胱による自己導尿患者に対する		ロボット支援副腎摘出術—腹腔鏡手術との棲み分け	
看護のコツ		木村 有佑・森實 修一・武中 篤	728
横山 剛志・吉田 正貴	574	腎部分切除術：すべきでない症例は	
神経因性膀胱患者の排便管理のコツ		吉田 一彦・高木 敏男	734
乃美 昌司・柳田 章宏・仙石 淳	580	腎摘除術—ハイステージ症例はどこまで可能か	
歩行障害を有する患者のトイレ移乗のコツ		山崎 健史・内田 潤次	738
小暮 一美・松本 卓也・西村 かおる	586	初回治療不成功例および長期尿管ステント留置症例に対するロボット支援腎盂形成術	
神経因性膀胱患者の生活指導のコツ		司馬 出・森 亘平・松本 和将	744
西村 かおる	592	小児症例に対するロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術	
●ロボット支援手術 One Step Up (8)		水野 健太郎・西尾 英紀・林 祐太郎	750
企画にあたって		ハイステージ上部尿路上皮癌に対する	
近藤 幸尋	615	ロボット腎尿管全摘除術	
〈新規手術支援ロボットを使いこなす—何が他機種と違うのか〉		近藤 恒徳	756
da Vinci SP サージカルシステム		腎尿管全摘除術：後腹膜アプローチ	
竹中 政史・白木 良一	616	北野 弘之・日向 信之	764
hinotori™ ロボットサージカルシステム		膀胱全摘除術：女性症例	
原 琢人・千葉 公嗣・三宅 秀明	624	全並 賢二・赤松 秀輔・高原 健	770
Hugo™ RAS システムを用いた泌尿器科手術		膀胱全摘除—ICUD の極意	
田畑 健一・池田 勝臣・松本 和将	630	中根 慶太・谷口 友規・古家 琢也	778
泌尿器手術における Sroa の現状		ロボット支援腹腔鏡下仙骨腔固定術の困難症例とその対策	
岩谷 洸介・三木 淳	638	野村 昌良	786
Senhance® による泌尿器鏡視下手術の導入経験と			

ICG 蛍光ナビゲーションを用いた勃起神経温存 ロボット支援前立腺全摘除術 郡家 直敬・松尾 勇輝・羽賀 宣博……………792	尿道下裂—陰茎の彎曲の是正と新尿道の形成を 同時に行うのは可能でしょうか 青木 勝也……………904
AI による手術工程の認識 近内 悠一郎・福本 桂資郎・大家 基嗣……………798	先天性副腎過形成—女兒外陰部形成術の手順と術式 長谷川 雄一……………912
●ラインナップ！小児泌尿器科の手術， 余さずお見せします〈特別付録 Web 動画〉(10)	●泌尿器科領域周術期感染症と合併症 —ガイドラインからみえる未来予想図 (11)
企画にあたって 林 祐太郎……………822	企画にあたって 山本 新吾……………935
〈泌尿器科医がジェネラルに習得したい手術〉 包茎・埋没陰茎—どんな場合に手術が必要か？ どのようなオペをすべきか？ 森澤 洋介・橘 進彰・藤本 清秀……………824	〈総論〉 周術期感染症と予防抗菌薬 亀井 潤……………936
精巣腫瘍—高位精巣摘除術と testis sparing surgery (精巣温存手術) 西村 謙一……………830	術前処置 松本 正広……………942
陰嚢水腫—どんな場合に手術が必要か？ どのようなオペをすべきか？ 佐藤 雄一・桐花 悠介・滝浪 瑠璃子……………834	周術期の手術部位感染症予防のための術中処置 重原 一慶・溝上 敦……………948
停留精巣—実は容易ではない！ 精巣固定術の 基本をときあかしてください！ 内藤 泰行……………838	周術期管理 重村 克巳……………956
精巣捻転・精巣外傷—どんな場合に手術が必要か？ どのようなオペをすべきか？ 西 盛宏・林 千裕……………848	〈各論〉 前立腺生検 松山 佳樹・北村 寛……………964
腎盂尿管移行部通過障害 —経腹膜アプローチと後腹膜アプローチ 中山 哲成・宋 成浩……………854	尿路内視鏡検査 小林 加直・池田 健一郎・河野 浩之……………970
膀胱尿管逆流—鏡視下手術での低侵襲手術 石井 啓一・木村 薫・西原 千香子……………860	尿路内視鏡手術—TURBT, TURP, 経尿道的前立腺 核出術，経尿道的レーザー前立腺蒸散術 東郷 容和・山本 新吾……………976
後部尿道弁 三井 貴彦・志村 寛史……………866	尿路結石手術の感染性合併症の予防のために 恵谷 俊紀……………982
〈小児泌尿器科スペシャリストの手術〉 尿管瘤に対するアプローチ —異所性尿管瘤に対する治療選択 守屋 仁彦・日向 泰樹・相村 光貴……………872	開腹・腹腔鏡（ロボット）手術 糠谷 拓尚・石川 清仁・高原 健……………988
腎芽腫—どんな場合に手術が必要か？ どのようなオペをすべきか？ 西尾 英紀・水野 健太郎・林 祐太郎……………880	小児手術—周術期の予防抗菌薬投与法を中心とした 周術期管理 上原 央久……………992
二分脊椎による神経因性膀胱—膀胱拡大術， 導尿路造設術，膀胱頸部形成術の適応とその術式 杉多 良文・春名 晶子・植松 陸……………885	人工異物を使用する手術 藤原 敦子……………998
総排泄腔外反 —外反を閉鎖するタイミングとその術式 佐藤 裕之……………891	尿道狭窄に対する尿道形成術—周術期感染対策 柳 東益・兼松 明弘……………1004
総排泄腔遺残—Total Urogenital Mobilization を行えば —期的に根治は可能か？ 野口 満・前田 晃宏・東武 昇平……………898	●どうなの？ どうするの？ 男性不妊症診療の素朴な疑問 (12)
	企画にあたって 辻村 晃……………1029
	男性不妊症：併存疾患や生活習慣との関連 白石 晃司……………1030
	生殖医療の保険適用化による男性不妊症診療の 変化と初学者むけ男性不妊症保険診療 竹内 晋次郎・小林 秀行……………1036
	男性の妊孕性温存の実態 湯村 寧……………1040

賀来 泰大・井上 貴昭……………(増) 042	033 横隔膜を損傷した
013 水腎高度で尿管蛇行でガイドワイヤーが 進まない	沢田 雄一郎・三浦 徳宣・雑賀 隆史……(増) 098
岡田 真介……………(増) 045	034 腸管を損傷した
014 再度の症例で尿管狭窄があり結石に到達困難	馬場崎 隆志・三田 耕司……………(増) 101
岡田 真介……………(増) 048	《腹腔鏡下/ロボット支援腎摘除術(後腹膜アプローチ)》
015 術後尿管ステント留置は必要か?	035 腹膜と腎腫瘍が癒着している
田中 直人・井上 貴昭……………(増) 051	馬場崎 隆志・三田 耕司……………(増) 104
016 ストーンストリートでステント抜去困難	036 腹膜を損傷した
井口 太郎・森田 展代・宮澤 克人……………(増) 054	星 誠二・八木沼 恵・秦 淳也……………(増) 106
017 術後に尿管狭窄を来した	037 第12肋骨と腸骨との間に距離がない
井口 太郎・近沢 逸平・宮澤 克人……………(増) 057	西田 幸代・小林 皇・舩森 直哉……………(増) 109
《経皮的腎瘻造設術》	《腹腔鏡下/ロボット支援腎部分切除術》
018 穿刺中に水腎がなくなった	038 腫瘍が上(下)極にあって視野の確保が むずかしい
磯谷 周治……………(増) 060	伊藤 悠城・槇山 和秀……………(増) 111
019 腎瘻トラクトの造設中に大出血した	039 腫瘍と腎門部が近接していて部分切除により 腎動脈を損傷した
磯谷 周治……………(増) 063	伊藤 悠城・槇山 和秀……………(増) 115
020 大出血症例の碎石施行時期は?	040 完全埋没の腫瘍が見つからない
濱本 周造……………(増) 066	近藤 恒徳……………(増) 117
021 先行腎手術の影響で造設困難の場合	041 腫瘍周囲に腎嚢胞が存在し、嚢胞が開窓した
磯谷 周治……………(増) 069	近藤 恒徳……………(増) 120
《経皮的腎碎石術(PNL)》	042 動脈の血流を再開したら出血が止まらない
022 ステント下端が尿管内に上昇した	本郷 文弥・浮村 理……………(増) 123
濱本 周造……………(増) 072	043 腎実質の縫合の際に腎実質が裂けた
023 腎瘻が抜けガイドワイヤー挿入困難となった	本郷 文弥・浮村 理……………(増) 126
濱本 周造……………(増) 074	《腹腔鏡下/ロボット支援腎盂形成術》
II 体腔鏡下手術	
《腹腔鏡下/ロボット支援副腎摘除術》	
024 褐色細胞腫摘出術中に、容易に血圧が上昇 するため手術操作を進めることができない	044 腎盂尿管移行部の通過障害部分が想定よりも 長く、切除しすぎて吻合ができない
井川 掌……………(増) 078	水野 健太郎・西尾 英紀・林 祐太郎……(増) 128
025 副腎の辺縁を周囲脂肪のために同定できない	045 術前に尿管ステントが留置されていて、 腎盂壁の癒着・粘膜の浮腫が強い
滝澤 奈恵・木下 秀文……………(増) 080	水野 健太郎・西尾 英紀・林 祐太郎……(増) 131
026 肝被膜を損傷した	046 術後にドレーン排液が急に増加した
滝澤 奈恵・木下 秀文……………(増) 082	東武 昇平・野口 満……………(増) 133
027 腹腔鏡下副腎摘除術の際に膀胱を損傷した	047 術後、腎盂内に血腫の存在が疑われた
井川 掌……………(増) 084	東武 昇平・野口 満……………(増) 136
《腹腔鏡下/ロボット支援腎摘除術》	048 術後吻合部が再狭窄した
028 腎と副腎の境界がわからない	森 亘平……………(増) 139
秦 淳也・長谷川 暁久・佐藤 雄一……………(増) 086	《腹腔鏡下ドナー腎採取術》
029 腎茎がうまく同定できない	049 温阻血時間を短くしたい
秦 淳也・八木沼 恵・小名木 彰史……………(増) 088	齋藤 満……………(増) 141
030 腎門部で血管を損傷し視野が確保できない	050 腎周囲脂肪が腎被膜と癒着していて剝がれない
山崎 健史……………(増) 090	齋藤 満……………(増) 143
031 腎静脈を遮断すると腎が腫脹してきた	《腹腔鏡下/ロボット支援尿管全摘除術》
山崎 健史……………(増) 093	051 尿管剝離の際に尿管が途中で切れた
032 脾臓を損傷した	全並 賢二……………(増) 145
沢田 雄一郎・三浦 徳宣・雑賀 隆史……(増) 096	

《腹腔鏡下/ロボット支援前立腺全摘除術》

- 052 中葉肥大, 前立腺肥大症術後の膀胱頸部離断
はどうか
小池 慎・吉岡 邦彦……………(増) 147
- 053 直腸を損傷した
服部 一紀……………(増) 151
- 054 膀胱頸部離断の際に尿管を損傷した
山田 雄太……………(増) 153
- 055 膀胱が大きく開いた
山田 雄太……………(増) 156
- 056 リンパ節郭清時に閉鎖神経を損傷・切断した
山田 真海・吉岡 邦彦……………(増) 159
- 057 リンパ節郭清時に腸骨動脈(静脈)を損傷した
服部 一紀……………(増) 163
- 058 術後リンパ嚢腫ができた
秦 淳也・針金 佑樹・赤井畑 秀則……………(増) 166
- 059 術後出血して骨盤内に血腫がたった
楠原 義人・古川 順也……………(増) 169
- 《ロボット支援膀胱全摘除術(術前)》
- 060 ロボットの鉗子で尿管を強く牽引してしまい,
尿管が切断された
中根 慶太・飯沼 光司・古家 琢也……………(増) 171
- 061 腫瘍が大きいために膀胱を腹側に挙上できず,
背側の視野を確保できない
中根 慶太・飯沼 光司・古家 琢也……………(増) 173
- 062 腎尿管全摘除術の既往があり, 骨盤内の癒着
が強く, 手術が進まない
清水 龍太郎・森實 修一・武中 篤……………(増) 176
- 063 左尿管をS状結腸の背側に通す操作中,
出血を来した
山根 浩史・森實 修一・武中 篤……………(増) 179
- 《ロボット支援膀胱全摘除術(術後)》
- 064 腔前壁縫縮部が離開し, 腸管が脱出してきた
寺田 直樹……………(増) 182

Ⅲ 体外衝撃波碎石術(ESWL)

- 065 抗凝固薬を使用している症例の薬剤は
中止すべきか
赤樫 圭吾・佐藤 嘉一・戸邊 武蔵……………(増) 186
- 066 術後の皮下出血を軽減したい
赤樫 圭吾・佐藤 嘉一・戸邊 武蔵……………(増) 188

Ⅳ 開放手術

《副腎摘除術》

- 067 10 cmの右副腎癌の開腹手術. 腫瘍が巨大で
右副腎静脈の処理に難渋し, 右副腎静脈が下大静
脈から抜けてしまい出血を来した
滝澤 奈恵・木下 秀文……………(増) 192

《根治的腎摘除術》

- 068 感染腎の摘除で腎茎部の癒着が高度

原 智……………(増) 195

《腎尿管全摘除術》

- 069 尿管癌が総腸骨動静脈と高度に癒着して
剥離が困難
早川 望・菊地 栄次……………(増) 198
- 070 膀胱尿管移行部切除において視野がとれず
切除・膀胱壁の吻合が困難
勝井 政博……………(増) 200
- 《腎部分切除術》
- 071 術後尿瘻ができた
吉田 一彦・高木 敏男……………(増) 203
- 072 術後動静脈瘻ができた
吉田 一彦・高木 敏男……………(増) 206
- 《腎盂形成術》

- 073 術後に水腎症が改善しない
松本 一宏……………(増) 208
- 《腎移植術》
- 074 移植腎の被膜が大きく欠損した
篠田 和伸……………(増) 210
- 075 移植腎尿管が短くて膀胱まで届かない
田崎 正行……………(増) 212
- 076 術後リンパ漏が改善しない
森田 伸也……………(増) 214
- 077 腎移植後, 画像検査にて腎動脈吻合部狭窄が
指摘された
村松 真樹……………(増) 216
- 078 腎移植後, 腎静脈血栓が指摘された
井上 高光……………(増) 219
- 079 腎移植後, 移植腎尿管狭窄が起きた
環 聡・森田 伸也・中川 健……………(増) 221

《尿管の手術》

- 080 正常部位と狭窄部位の見極めはどうしたらいい
のか? 尿管膀胱吻合をしたいが尿管が膀胱ま
で届かない
竹中 政史・佐々木 ひと美・白木 良一……………(増) 223
- 081 尿管膀胱吻合をしたいが尿管が膀胱まで
届かない
安水 洋太……………(増) 226
- 082 Psoas hitch 法で大腿神経を巻き込んだ
藤塚 雄司……………(増) 229

《膀胱の手術》

- 083 放射線性膀胱炎のため膀胱が骨盤壁に
へばりついている
大関 孝之……………(増) 231
- 084 膀胱全摘除術後に骨盤底の出血が止まらない
和田 直樹……………(増) 233
- 085 膀胱腔瘻の瘻孔部が骨盤の奥深くにあり
修復できない

朝倉 博孝・篠島 利明……………(増) 236	086 膀胱三角部上の後壁がほとんど欠損している 安水 洋太……………(増) 239
《尿路変向術》	087 尿管皮膚瘻をつくりたいが、尿管が短くて 腹壁に届かない 早川 望・菊地 栄次……………(増) 241
088 尿管が短くて回腸導管に届かない 原 智……………(増) 243	089 自排尿型代用膀胱を作製したが尿道まで 届かない 石田 勝……………(増) 246
090 回腸導管が短くて皮膚から排泄口まで十分な 高さが得られない 小林 裕章……………(増) 249	《尿失禁・骨盤臓器脱の手術》
091 手術時にストレステストがうまくいかない 田中 伸之・安水 洋太・大家 基嗣……………(増) 252	092 尿道が強く挙上されて固定した 井上 三保子・篠島 利明……………(増) 255
093 TVM 術中に膀胱側腔からの出血が止まらない 嘉村 康邦……………(増) 257	《陰茎の手術》
094 包茎手術中に包皮を切りすぎた 岩佐 俊・浅沼 宏・大家 基嗣……………(増) 260	095 包茎手術後に包皮が狭窄・癒着した 岩佐 俊・浅沼 宏・大家 基嗣……………(増) 263
096 陰茎全摘除術で出血のコントロールが 困難になった 萩原 正幸……………(増) 266	《尿道の手術》
097 球部尿道狭窄の症例に対して狭窄部切除・尿 道端々吻合術の予定で臨んだが、術中所見で予想 以上に狭窄部が長い(≥20 mm)ことが判明した。 どのような術式を選択すべきか？ 田部 井 正……………(増) 269	098 外傷性後部尿道狭窄症例に対して経会陰的ア プローチで狭窄部切除、尿道端々吻合術の予定で 臨んだが、予想以上に狭窄長が長く、緊張のない 吻合が困難であることが判明した。どのような術 式を選択すべきか？ 柳 東益・兼松 明弘……………(増) 272
099 尿道形成術ではグラフトとして陰茎包皮や口 腔粘膜が利用されると聞いた。実際、どちらを第 一選択とすればよいのだろうか？ 浅沼 宏……………(増) 275	100 手術直前の尿道造影検査で尿道の狭窄部が2 箇所あることが判明した。どのような術式を選択

すべきか？ 堀口 明男・新地 祐介・渡邊 大祐……………(増) 278	《陰嚢内臓器の手術》
101 精巣外傷で出血は止まっているが経過観察で よいのか？ 小林 裕章・濱本 孔越……………(増) 283	102 高位精巣摘除術で結紮糸が緩み出血がみられる 萩原 正幸……………(増) 286
103 精索静脈瘤術後に再発した。再手術をすべき か、またその術式は。再発を防ぐには 永尾 光一……………(増) 289	104 フルニエ壊疽でデブリードマンを行っている。 精巣摘除も行うべきか？ 小林 裕章・瀬川 裕平……………(増) 292

V 小児の手術

105 停留精巣—術後精巣が再上昇・萎縮した 佐藤 温子・浅沼 宏・大家 基嗣……………(増) 296	106 尿道下裂—術後尿道皮膚瘻・狭窄が起きた 此元 竜雄……………(増) 299
107 膀胱尿管逆流—術直後、尿管が狭窄して急性 腎不全が起きた 林 千裕・西 盛宏……………(増) 302	108 膀胱尿管逆流—逆流が残存・再発した 西尾 英紀・水野 健太郎・林 祐太郎 丸山 哲史……………(増) 304
109 陰嚢水腫—術後再発・鼠径ヘルニアが発症した 森澤 洋介・橘 進彰・藤本 清秀……………(増) 308	

症 例

緊急で一期的再建術を行った尿道損傷 森田 剛史・西本 光寿・永井 康晴・藤田 和利 吉村 一宏・植村 天受……………(1) 89	腹腔鏡下前立腺全摘除術後の感染性リンパ嚢腫を 契機とした腸腰筋膿瘍 桐島 史明・椎野 裕登・西田 健介 望月 英樹……………(2) 183
リンパ管造影により縮小が得られた 後腹膜嚢胞性腫瘍 森川 知治・花井 孝宏・松本 玲応奈・望月 拓 三好 康秀・千葉 喜美男……………(12) 1097	食道胃接合部癌に対するニボルマブ投与後に 発症した免疫関連膀胱炎 郷津 洲・鷲野 聡・嘉指 公輔・水戸 康平 齊藤 公俊・宮川 友明……………(12) 1101

交見室

外側円錐筋膜と Gerota 筋膜 徳地 弘……………(9) 804	
---------------------------------------	--

リアルワールドエビデンス創出の意義	
勝岡 洋治	(11) 1009

学会印象記

「第 31 回日本排尿機能学会」印象記	
東武 昇平	(1) 94
「日本性機能学会第 34 回学術総会」印象記	
上田 倫央	(1) 96
「第 44 回国際泌尿器科学会総会 Société Internationale d'Urologie (SIU)」参加レポート報告	
菊川 忠彦	(2) 188
「日本泌尿器腫瘍学会第 10 回学術集会」印象記	
田岡 利宜也	(2) 190
「第 38 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会」印象記	
遠藤 勇氣	(3) 288
「第 76 回西日本泌尿器科学会総会」印象記	
VIVA! SAGA!	
杉多 良文	(3) 290
「第 40 回 EAU」印象記	
小名木 彰史	(7) 601
「第 40 回 EAU」印象記	
三神 晃	(8) 713
「第 112 回 JUA」印象記	
福本 桂資郎	(8) 716
「AUA2025」印象記～ラスベガスの熱気とともに～	
桑川 知之	(9) 810
「第 112 回日本泌尿器科学会総会」印象記	
～次の 100 年に向けて～	

宮下 雅重	(9) 812
「AUA 2025」印象記	
近内 悠一郎	(10) 921
「第 38 回日本老年泌尿器科学会」印象記	
岩本 大旭	(10) 924
「第 34 回日本小児泌尿器科学会」印象記	
佐藤 温子	(11) 1017

連 載

保険を理解し、利用しよう

第 1 回 日本の医療保険制度の特徴と海外との違い	
相澤 卓・葦沢 龍人・大野 芳正	(5) 406
第 2 回 PMDA および厚生労働省の役割	
斎藤 忠則	(6) 495
第 3 回 外保連と内保連	
山口 健哉・藤田 昂宏・荒川 滋行	(7) 597
第 4 回 診療における保険の原則	
上原 慎也	(8) 708
第 5 回 DPC 制度における機能評価係数の理解	
矢内原 仁	(9) 806
第 6 回 先進医療とは	
小路 直	(10) 917
第 7 回 DPC と出来高算定	
岡田 充生・相澤 卓・大野 芳正	(11) 1010
第 8 回 泌尿器科関連の各種指導料獲得のために	
横山 みなと	(12) 1108
第 9 回 外来診療と入院診療	
杉原 亨	(13) 1194

「臨床泌尿器科」第79巻 執筆者索引

2025年(第1号~第13号)

数字は通巻頁数, 増は第79巻第4号

あ

相澤 卓……………406, 1010
相澤 直樹……………1164
青木 勝也……………904
青木 啓介……………700
赤井畑 秀則……………524, 増166
赤桎 圭吾……………増182, 増188
赤塚 純……………24
赤松 秀輔……………770
浅沼 宏……………増260, 増263, 増275,
増296
朝倉 博孝……………増236
葦沢 龍人……………406
荒川 滋行……………597
新井 隆司……………120

い

五十嵐 大樹……………389
五十嵐 太郎……………1188
井川 掌……………増078, 増084
井口 太郎……………増054, 増057
井上 幸治……………372
井上 聡己……………202
井上 貴昭……………増038, 増042, 増051
井上 貴博……………400
井上 高光……………342, 増219
井上 三保子……………増255
伊藤 悠城……………増111, 増115
飯沼 光司……………254, 増171, 増173
筏井 亮太……………272
池田 健一郎……………970
池田 勝臣……………630
石井 啓一……………860
石川 清仁……………988
石田 勝……………増246
泉 浩二……………82
磯谷 周治……………増060, 増063, 増069
市場 文功……………210
今村 有佑……………650

今村 亮一……………676, 1142
岩佐 俊……………増260, 増263
岩谷 洸介……………48, 638
岩月 正一郎……………1094
岩端 威之……………1074
岩本 大旭……………924

う

上田 倫央……………96, 361
上原 慎也……………708
上原 央久……………992
植松 陸……………885
植村 天受……………89
魚住 二郎……………562
浮村 理……………増123, 増126
内田 潤次……………738
梅本 幸裕……………1094

え

恵谷 俊紀……………982
遠藤 勇氣……………288

お

小田 瑞……………120
小名木 彰史……………601, 増088
小原 航……………389
尾下 美保子……………568
大坂 晃由……………1074
大関 孝之……………増231
大谷 美結……………1148
大野 芳正……………406, 1010
大庭 康司郎……………676
大家 基嗣……………798, 増009, 増252,
増260, 増263, 増296
岡田 真介……………増045, 増048
岡田 弘……………1074
岡田 充生……………1010
岡田 義之……………134
奥野 さつき……………114
長船 崇……………210

か

加藤 琢磨……………34
加藤 実……………490
加山 恵美奈……………319
賀來 泰大……………増042
嘉指 公輔……………1101
角谷 成紀……………448
勝井 政博……………増200
勝岡 洋治……………1009
金子 剛……………644
兼松 明弘……………1004, 増012, 増014,
増272
神沢 英幸……………266
亀井 潤……………936
川野 将太……………1188
河嶋 厚成……………484
河野 浩之……………970
河原 貴史……………478
神波 大己……………383

き

木下 秀文……………増080, 増082, 増192
木村 薫……………860
木村 剛……………24
木村 高弘……………244
木村 有佑……………728
吉良 聡……………530
菊川 忠彦……………188
菊地 栄次……………454, 増198, 増241
菊地 萌未……………142
北野 剛士……………272
北野 滋久……………389
北野 弘之……………764
北村 寛……………395, 426, 964
橘田 岳也……………536
桐島 史明……………183
桐花 悠介……………834

く

久保 馨彦……………216
久米 春喜……………448
楠木 楨……………126
楠原 義人……………増 169
糸川 知之……………810
藏田 彩……………562
栗山 萌子……………150
黒川 覚史……………266
黒田 晋之介……………1056
鉄田 知子……………126, 1182
郡家 直敬……………792

こ

小池 慎……………増 147
小暮 一美……………586
小島 崇宏……………272
小島 祥敬……………200, 304
小林 英一……………226
小林 加直……………970
小林 皇……………増 109
小林 恭……………425
小林 秀行……………1036
小林 裕章……………増 249, 増 283, 増 292
小山 勇……………644
古家 琢也……………254, 778, 増 171, 増 173
古城 公佑……………1078
後藤 景介……………248
郷津 洲……………1101
此元 竜雄……………増 299
近藤 恒徳……………756, 増 117, 増 120
近藤 幸尋……………24, 615, 727, 増 016, 増 019
近内 悠一郎……………798, 921

さ

佐々木 ひと美……………増 223
佐々木 雄太郎……………658
佐藤 温子……………1017, 増 296
佐藤 航大……………650
佐藤 裕之……………891
佐藤 雄一……………834, 増 086
佐藤 嘉一……………増 182, 増 188
雑賀 隆史……………増 096, 増 098
斎藤 忠則……………495
齊藤 公俊……………1101
齊藤 亮一……………442

斎藤 満……………増 141, 増 143
斎藤 好信……………238
坂本 信一……………650
里地 葉……………552
沢田 雄一郎……………増 096, 増 098
沢田 勇吾……………178
澤田 篤郎……………増 034, 増 036
澤田 智史……………530

し

司馬 出……………744
志村 寛史……………866
清水 龍太郎……………増 176
椎野 裕登……………183
重原 一慶……………948
重村 克巳……………956
設楽 敏也……………増 022
篠島 利明……………増 236, 増 255
篠田 和伸……………増 210
小路 直……………917
白石 晃司……………355, 1030
白木 良一……………40, 616, 増 223
城武 卓……………644
新地 祐介……………増 278

す

杉多 良文……………290, 885
杉原 亨……………1194
梶村 光貴……………872
鈴木 康友……………増 016, 増 019

せ

瀬川 裕平……………増 292
関戸 哲利……………1156
仙石 淳……………580
全並 賢二……………40, 770, 増 145

そ

宋 成浩……………854

た

田岡 利宜也……………190
田崎 正行……………増 212
田中 慶太郎……………210
田中 隆造……………1078
田中 直人……………増 051
田中 伸之……………増 252
田畑 健一……………630

田部井 正……………増 269
高木 敏男……………734, 増 203, 増 206
高橋 良輔……………512
高橋 悟……………518, 694
高原 健……………770, 988
滝澤 奈恵……………増 080, 増 082, 増 192
滝浪 瑠璃子……………834
竹内 晋次郎……………1036
竹内 啓善……………216
竹澤 健太郎……………361, 1084, 1136
竹島 徹平……………1056
竹中 政史……………40, 616, 増 223
竹山 政美……………126
武田 知樹……………1094
武中 篤……………728, 増 176, 増 179
橘 進彰……………824, 増 308
谷口 友規……………778
谷口 久哲……………1088
種子田 勇樹……………244
環 聡……………増 221

ち

千葉 喜美男……………1097
千葉 公嗣……………624, 1048
近沢 逸平……………増 057

つ

都築 豊徳……………434
辻村 晃……………1029

て

寺田 直樹……………72, 増 182

と

戸邊 武蔵……………増 186, 増 188
土井 有紀子……………1182
東郷 未緒……………108
東郷 容和……………325, 976
東武 昇平……………94, 349, 511, 542, 898, 増 133, 増 136
徳地 弘……………804
富岡 禎史……………1130
富山 奈美……………313

な

納谷 幸男……………330
内藤 整……………337
内藤 泰行……………838

中川 健……………増 221
中川 義久……………232
中根 明宏……………313
中根 慶太……………254, 778, 増 171,
増 173
中山 哲成……………854
永井 康晴……………89
永榮 美香……………156
永尾 光一……………増 289
成田 伸太郎……………666

に

西 盛宏……………848, 増 302
西井 久枝……………1130
西尾 英紀……………365, 750, 880, 増 128,
増 131, 増 304
西田 健介……………183
西田 幸代……………増 109
西原 千香子……………860
西村 かおる……………586, 592
西村 謙一……………830
西村 伸隆……………260, 460
西本 光寿……………89
西山 直隆……………395
西山 博之……………478

ぬ

糠谷 拓尚……………988
沼倉 一幸……………280

の

乃美 昌司……………580
野口 満……………349, 542, 898, 増 133,
増 136
野々村 祝夫……………484, 1084, 1136
野原 素直……………700
野宮 正範……………1130
野村 昌良……………107, 150, 156, 170,
786
野村 由紀子……………134

は

羽賀 宣博……………792
長谷川 暁久……………増 086
長谷川 雄一……………912
馬場崎 隆志……………増 101, 増 104
萩原 正幸……………増 266, 増 286
秦 淳也……………524, 増 086, 増 088,

増 106, 増 166

畠山 真吾……………5, 56, 468
服部 一紀……………増 151, 増 163
花井 孝宏……………1097
濱本 孔越……………増 283
濱本 周造……………増 066, 増 072, 増 074
早川 望……………454, 増 198, 増 241
林 千裕……………848, 増 302
林 篤正……………156, 170
林 祐太郎……………365, 750, 822, 880, 増
128, 増 131, 増 304
原 智……………増 195, 増 243
原 琢人……………624
原田 淳樹……………676
原田 成美……………126, 1182
針金 佑樹……………増 166
春名 晶子……………885

ひ

日向 信之……………248, 764
日向 泰樹……………558, 872
桧山 佳樹……………395, 964
平松 一平……………1062

ふ

布川 朋也……………658
葺石 陽亮……………増 038
福島 結美……………126
福原 慎一郎……………361, 1068
福本 桂資郎……………716, 798
藤尾 圭……………48
藤田 昂宏……………597
藤田 和利……………89, 306
藤塚 雄司……………増 229
藤原 敦子……………998
藤村 哲也……………688
藤本 清秀……………260, 460, 824, 増 028,
増 031, 増 308
古川 順也……………658, 増 169
古田 昭……………1188

ほ

星 誠二……………増 106
堀口 明男……………増 278
本郷 文弥……………増 123, 増 126

ま

馬嶋 剛……………1170

前田 晃宏……………349, 542, 898
前林 俊也……………64
槇山 和秀……………増 111, 増 115
舩森 直哉……………増 109
増田 均……………76, 682
松尾 朋博……………1142
松尾 勇輝……………792
松岡 香菜子……………524
松岡 陽……………16
松川 宜久……………1123
松下 千枝……………1176
松谷 亮……………増 025
松原 伸晃……………474
松本 一宏……………増 208
松本 和将……………630, 744
松本 卓也……………586
松本 正広……………942
松本 玲応奈……………1097
丸山 哲史……………増 304

み

三浦 徳宣……………増 096, 増 098
三神 晃……………713
三木 淳……………48, 638
三田 耕司……………増 101, 増 104
三井 貴彦……………530, 866, 1124
三宅 秀明……………624, 1048
三宅 牧人……………260, 460, 増 028,
増 031
三好 康秀……………1097
三輪 好生……………142
水戸 康平……………1101
水野 健太郎……………365, 750, 880,
増 128, 増 131, 増 304
溝上 敦……………948
南 高文……………306
宮内 琴菜……………1148
宮川 友明……………1101
宮澤 克人……………増 054, 増 057
宮下 雅垂……………812

む

村松 真樹……………増 216

も

持田 淳一……………694
望月 拓……………1097
望月 英樹……………183

元島 崇信 ……………383
守屋 仁彦 ……………872
森 啓一郎 ……………244
森 亘平 ……………744, 増 139
森川 知治 ……………1097
森實 修一 …… 728, 増 176, 増 179
森澤 洋介 ……………824, 増 308
森田 伸也 ……………増 214, 増 221
森田 剛史 ……………89
森田 展代 ……………増 054
森山 真吾 ……………162

や

八木沼 恵 ……………増 088, 増 106
矢嶋 習吾 ……………76
矢内原 仁 ……………806
安井 孝周 ……………266, 313
安水 洋太 …… 増 226, 増 239, 増 252

柳 東益 …… 1004, 増 012, 増 014,
増 272
柳内 章宏 ……………580
山口 健哉 ……………597
山崎 一恭 ……………1078
山崎 健史 …… 738, 増 090, 増 093
山田 真海 ……………増 159
山田 康隆 ……………650
山田 雄太 ……………増 153, 増 156
山根 浩史 ……………増 179
山本 新吾 ……………325, 935, 976
山本 勇人 ……………56

ゆ

湯村 寧 ……………1040, 1056

よ

横山 剛志 ……………574

横山 みなと ……………1108
吉尾 裕子 ……………108
吉岡 邦彦 …… 700, 増 147, 増 159
吉田 一彦 …… 734, 増 203, 増 206
吉田 正貴 ……………574, 1130
吉村 一宏 ……………89
吉村 耕治 ……………378
吉澤 剛 ……………518, 694
嘉村 康邦 ……………134, 増 257
米山 高弘 ……………56
米山 徹 ……………6

わ

和田 直樹 ……………1148, 増 233
鷺野 聡 ……………1101
渡邊 大祐 ……………増 278
渡邊 純子 ……………150
渡邊 梨紗子 ……………688

「臨床泌尿器科」第79巻 キーワード索引

2025 年（第 1 号～第 13 号）

数字は通巻頁数，増は第 79 巻第 4 号

あ

アセスメント……………574
アドオン……………524
アベルマブ……………454
アミラーゼ値……………増 084
アンドロゲン受容体シグナル
阻害薬（ARSI）……………72
アンプラッツ腎瘻
ダイレーター……………増 069

い

イムノフェノタイプ……………434
イレウス……………210
インジゴカルミン注……………増 028
インドシアニンググリーン
（ICG）……………792
医原性尿管狭窄……………増 038
医薬品医療機器総合機構
（PMDA）……………495
医療技術評価分科会……………495
医療制度……………400
異型度概念の変遷……………434
異所性尿管瘤……………872
移乗介助……………586
移植腎……………増 210
移植腎動脈狭窄……………増 216
移植尿管……………増 212
遺伝子改変ウイルス……………490
一次薬物療法……………478
一期的尿道下裂修復術……………904
陰茎海綿体……………増 266
陰茎癌……………増 266
陰茎絞扼症……………355
陰茎全摘除術……………増 266
陰茎包皮……………増 275
院内肺炎……………238
陰嚢水腫……………834, 増 308
陰嚢内血腫……………増 283

う

ウロストミー……………増 249
ウロダイナミックスタディ
（UDS）……………108

え

エストロゲン……………178
エネルギーデバイス……………増 098
エビデンス……………956
エルダフィチニブ……………468
エンホルツマブ ベドチン……………460
壊死性軟部組織感染症……………372
疫学調査……………1124

お

汚染手術……………988
嘔吐……………272
温阻血時間……………増 141

か

カテーテル……………349
カテーテル留置……………562
ガイドワイヤー……………増 014
がん治療……………1040
がん薬物療法……………272, 383
下大静脈腫瘍塞栓……………738
下部尿路症状……………866
下腹部緊満……………260
化学療法……………426, 434
可逆の治療……………1182
仮性動脈瘤……………増 206
過活動膀胱（OAB）……………1124, 1136,
1142, 1156, 1188
寡分割照射……………64
介助導尿……………562
回腸導管……………増 179, 増 249
回腸導管造設……………増 243
開腹手術……………増 233
開放手術……………増 192

外陰部静脈……………増 289
外尿道口狭窄……………増 012
外保連……………597
外保連試案……………597
外来診療……………1194
拡散強調画像……………226
核医学……………82
褐色細胞腫……………増 078
合併症……………694, 786, 増 016, 増 019
合併症対策……………700
完全尿閉……………349
完全埋没型……………増 117
肝被膜損傷……………増 082
肝副腎癒合……………増 082
患者管理鎮痛法（PCA）……………202
患者説明……………1176
感染腎摘除……………増 195
嵌頓包茎……………355
監視療法（AS）……………34
環状切除術……………増 260, 増 263
鑑別診断……………313

き

気胸……………増 098
気膀胱下手術……………860
起立動作……………586
基本手技……………666
機能評価係数……………806
急性陰嚢症……………365
急性細菌性前立腺炎……………964
急性精巣上体炎……………365
急性前立腺炎……………325
救済手術……………増 139
救済ロボット支援膀胱全摘除術
……………688
巨大腫瘍……………増 034, 増 173
虚血性持続勃起症……………361
共同意思決定（SDM）……………1142
局所止血剤……………増 210
局所進行腎癌……………738

局所放射線治療……………72

く

クリニカルパス……………970
クロミフェンクエン酸塩……………1062

け

外科的再建術……………増 057
経カテーテル動脈塞栓術
 (TAE)……………244, 増 169
経験的治療……………400
経肛門の洗腸療法……………580
経腔のアプローチ……………増 236
経腔メッシュ手術……………998
経尿道の結石破砕術
 (TUL)……………増 186
経尿道の後部尿道弁切開術……………866
経尿道の水蒸気治療
 (WAVE)……………増 025
経尿道の切開術……………872
経尿道の前立腺切除術
 (TURP)……………増 016, 増 019
経尿道の尿管碎石術
 (TUL)……………増 051
経尿道の膀胱腫瘍切除術
 (TURBT)……………増 034, 増 036
経皮的経尿道の同時破砕術
 (ECIRS)……………982
経皮的血管形成術……………増 216
経皮的腎碎石術
 (PNL)……………増 069, 増 074
経皮的腎碎石術〔PNL (PCNL)〕
 中の出血……………増 063
経腹膜アプローチ……………650, 増 101
経膀胱アプローチ……………40
血圧低下……………244
血液培養……………400
血管処理……………増 141
血管塞栓術……………増 206
血管損傷……………増 090
血管損傷……………増 163
血球計算盤……………1048
血栓回収療法……………226
血栓除去……………増 219
顕微鏡下精索静脈瘤手術
……………増 289
顕微鏡下精巣内精子採取術
 (micro-TESE)……………1094

顕微授精 (ICSI)……………1094

こ

コミュニケーション……………1142
個別化医療……………1188
工程認識……………798
口腔粘膜……………増 263, 増 275
行動療法・射精補助具による
 治療……………1078
交互作用検定……………474
抗凝固療法……………313, 増 219
抗菌薬……………325
抗菌薬最適化……………1004
抗血栓薬……………増 186
抗コリン薬……………1148
抗酸化……………1074
抗体薬物複合体……………490
後 S 状結腸回腸導管……………増 243
厚生労働省……………495
高位精巣摘除術……………増 286
高難度症例……………658
高難度腎腫瘍……………増 115
高リスク前立腺癌……………56
高齢者医療……………76
後部尿道狭窄……………増 272
後腹膜アプローチ……………650, 増 104,
 増 109
後腹膜鏡下腎摘除術……………増 106
後腹膜腔……………764
後腹膜トンネル……………増 243
後腹膜嚢胞……………1097
硬化性苔癬……………増 012
骨盤外傷……………342
骨盤臓器脱……………108, 114, 156, 694,
 786
骨盤内癒着……………増 231
骨盤骨切り……………891
骨盤リンパ節郭清……………増 159, 増 163
根治的腎摘除術……………増 086

さ

サブグループ解析……………474
再手術例……………744
再発……………増 304, 増 308
再発残存……………増 289
算定要件……………1108
酸化ストレス (ROS)……………1056, 1074

し

システムアップデート……………624
シスプラチン……………426
シングルポート……………40
子宮付属器……………770
止血機構……………増 096
死亡率……………1030
刺激症状……………280
指導……………574
指導料……………1108
視野確保……………増 111
試験刺激……………1182
自己導尿……………562, 574
自己尿管……………増 212
持続性勃起症……………361
手術教育……………798
手術療法 (OM)……………56, 306
腫瘍塞栓……………666
周囲組織展開……………増 200
周術期感染症……………936, 948
周術期管理……………956
周術期管理プログラム
 (ERAS)……………956
重症不整脈……………232
出血……………増 257
出血コントロール……………増 200
出血性疾患……………増 169
術後合併症……………248
術後経口抗菌薬追加投与……………992
術後出血……………254
術後尿瘻……………増 203
術後脳梗塞……………226
術後腹痛……………210
術式……………142
術前検査……………114
術前処置……………942
術前評価……………982
術前リスク評価……………942
術中出血……………増 025, 増 093, 増 233
術中処置……………948
術中超音波……………増 080
術中超音波検査……………増 117
順行性尿管鏡操作……………増 048
準清潔手術……………988
女兒外陰部形成術……………912
女性……………770
小児精巣腫瘍……………830

鞘状突起……………834
上部尿管屈曲……………増 045
触覚感知機能搭載ロボット……………48
触覚フィードバック……………638
心筋梗塞……………232
神経因性下部尿路機能障害……………518,
524, 536, 552
神経因性大腸機能障害……………580
神経因性排尿筋過活動……………530
神経因性膀胱……………512, 568, 574
神経温存……………792
進行性尿路上皮癌……………448
新規患者数・手術件数は増加
……………1036
新規手術支援ロボット……………644
診断……………512
診断群分類……………1010
人工知能 (AI)……………24, 798, 1188
人工尿道括約筋埋め込み術……………998
腎……………増 086
腎移植……………増 214, 増 216, 増 219,
増 221
腎盂形成術……………750, 854, 増 131,
増 208
腎盂タンポナーデ……………増 063
腎盂内血腫……………増 136
腎盂尿管移行部通過障害……………676
腎温存手術……………880
腎芽腫……………880
腎外傷……………306
腎癌……………383, 666
腎機能……………増 060
腎茎……………増 088
腎茎処理……………増 195
腎盂形成術……………増 128
腎周囲脂肪……………増 143
腎出血……………増 066
腎上 (下) 極腫瘍……………増 111
腎静脈血栓……………増 219
腎摘除……………増 090
腎摘除術……………880, 増 088, 増 109
腎動静脈瘻……………増 206
腎動脈損傷……………増 115
腎盂尿管移行部通過障害
……………増 139
腎尿管全摘……………756
腎尿管全摘除術……………増 145
腎尿管全摘除術後……………増 176

腎被膜……………増 143
腎部分切除術……………658, 734, 増 109,
増 203, 増 206
診療報酬……………1108, 1194
診療報酬点数表……………708
腎瘻……………378
腎瘻拡張用パルーン
ダイレーター……………増 069
腎瘻造設……………増 045
腎瘻拔去……………増 074

す

スイッチング……………524
スクリーニング……………76
ステント迷入……………増 072
ストーンストリート……………増 054
棲み分け……………728
水腎……………増 060
水腎症……………676, 増 208
水平マットレス縫合……………増 126
臍損傷……………増 084

せ

せん妄の診断……………216
せん妄の評価……………216
せん妄の薬物療法……………216
セラノスティックス……………82
生活習慣……………1030
生活の質 (QOL)……………1124
生活を構成する要素……………592
生菌製剤特有の有害事象……………395
生殖医療専門医 (泌尿器) の
不足……………1036
成人用おむつ……………568
性分化疾患……………912
精索静脈瘤……………1084
精子自動分析装置
(CASA)……………1048
精子凍結保存……………1040
精子 DNA 断片化検査……………1062
精子 DNA 断片化 (SDF)……………1056
精巣外傷……………増 283
精巣癌……………増 286
精巣血流……………増 292
精巣固定術……………増 296
精巣鞘膜パッチ……………848
精巣摘除……………増 292
精巣内精子採取術

(TESE)……………1088
精巣捻転……………365, 848
精巣破裂……………848, 増 283
精巣部分切除術……………830
精路再建術……………1088
切除不能尿路上皮癌……………448
仙骨神経刺激療法……………120, 536,
1182
仙骨腔固定術……………998
先進医療……………917
先天性……………866
疝痛……………330
穿刺……………増 060
全身性 BCG 感染症……………395
前方小腸瘤……………増 182
前立腺癌……………16, 24
前立腺周囲解剖……………700
前立腺生検……………964
前立腺全摘除術……………40, 183, 792,
増 153, 増 156, 増 166
前立腺中葉肥大……………増 147
前立腺膿瘍……………325
前立腺肥大症……………1148, 増 016,
増 019
前立腺肥大症術後……………増 147

そ

ソフト凝固……………増 123
鼠径ヘルニア……………834, 増 308
挿入困難……………280
総排泄腔遺残……………898
総排泄腔外反……………891
造影 CT……………244, 313, 増 169
造精機能障害……………1074

た

タイムアウト……………956
体外衝撃波碎石術 (ESWL)
……………増 054, 増 186, 増 188
体腔鏡手術……………増 096
体腔内尿路変向 (ICUD)……………778
大腿神経障害……………増 229
大腰筋……………増 229
代用膀胱……………増 246
単孔式ロボット支援手術……………616
単純腎摘除……………増 195
単純性腎盂腎炎……………319
単純膀胱摘除術……………増 231

男性低ゴナドトロピン性性腺
機能低下症 (MHH) …… 1068
男性不妊 …… 1030

ち

地域医療構想 …… 806
恥骨切除 …… 増 272
腔形成術 …… 898
腔断端挙上 …… 156
腔断端離開 …… 増 182
腔内射精障害 …… 1078
腔壁剝離 …… 増 257
中央社会保険医療協議会 …… 495
中部尿道スリング術 …… 998
長期合併症 …… 542
長期尿管ステント例 …… 744
頂部腫瘍 …… 増 036
腸閉塞 …… 210
腸腰筋膿瘍 …… 183
腸管損傷 …… 増 101
腸管利用膀胱拡大術 …… 542
直腸損傷 …… 増 151

て

ディープラーニング …… 16
デブリードマン …… 372, 増 292
低位結紮術 …… 1084
低活動膀胱 …… 1156
低活動膀胱を伴う過活動膀胱
…………… 1156
低侵襲手術 …… 854
低侵襲の外科治療 …… 増 025
低ナトリウム血症 …… 266
底部縫合 …… 増 123
定義 …… 512
定型化 …… 688
停留精巣 …… 増 296
適正使用 …… 976
転移性前立腺癌 (mPC) …… 72
転移性尿路上皮癌 …… 478
転移性膀胱癌 …… 468

と

ドレーン排液 …… 増 133
糖鎖変異 …… 6
動静脈浸潤 …… 増 198
動脈塞栓術 …… 増 063
導尿路造設術 …… 542, 886

な

内科の血尿 …… 337
内視鏡の切開術 …… 増 057
内鼠径輪 …… 増 286
内尿道切開 …… 増 014
内保連 …… 597
難治性過活動膀胱 …… 120, 536,
1170, 1176

に

二期の手術 …… 増 066
肉眼の血尿 …… 337
日常生活 …… 592
入院診療 …… 1194
尿意切迫感 …… 1164
尿管アクセスシース …… 増 038
尿管カテーテル …… 378
尿管癌 …… 増 198
尿管鏡 …… 増 223
尿管狭窄 …… 増 057, 増 221, 増 223,
増 226, 増 302
尿管結石 …… 増 042
尿管口 …… 増 028, 増 031
尿管再建 …… 増 171
尿管ステント …… 増 031
尿管ステント留置術 …… 増 203
尿管切断 …… 増 145
尿管損傷 …… 増 038, 増 145, 増 171,
増 239
尿管断端 …… 増 243
尿管尿管吻合術 …… 872
尿管皮膚瘻 …… 増 241
尿管膀胱移行部狭窄 …… 増 302
尿失禁 …… 108, 530
尿失禁防止術 …… 886
尿中細菌叢 …… 1136
尿通過障害 …… 増 136
尿道カテーテル …… 280
尿道下裂 …… 904, 増 299
尿道下裂形成術 …… 992
尿道下裂術後 …… 増 012
尿道外傷 …… 342
尿道狭窄 …… 増 299
尿道狭窄症 …… 増 278
尿道形成術 …… 89, 1004, 増 269,
増 275, 増 278
尿道再建 …… 増 278

尿道スリング手術 …… 増 252
尿道損傷 …… 89
尿道皮膚瘻 …… 増 299
尿道閉塞 …… 増 255
尿路感染症 …… 378
尿路上皮癌 …… 426, 454, 460
尿路性器感染症 …… 936
尿路内視鏡検査 …… 970
尿路内視鏡手術 …… 976
尿路変向 …… 増 179, 増 246, 増 249
尿路変向術 …… 552
尿瘻 …… 増 133
妊娠性温存 …… 1040

ね

ネオアジュバント内分泌
化学療法 …… 56

の

能動的受動的尿管拡張術
…………… 増 048
嚢胞性腫瘍 …… 増 120
嚢胞壁損傷 …… 増 120

は

バイオマーカー …… 34
バルーン拡張術 …… 増 057
パラダイムシフト …… 478
肺血栓塞栓症 …… 238
排尿障害 …… 568
背面切開術 …… 増 260
培養 …… 982
剝離面 …… 増 022
働き方改革 …… 増 042
発熱 …… 272
抜去困難 …… 280
癒痕性尿管狭窄 …… 増 048

ひ

ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン
(hCG) …… 1068
皮下血腫 …… 増 188
皮下出血 …… 増 188
非虚血性持続勃起症 …… 361
非手術療法 (NOM) …… 306
非触知精巣下降経路 …… 838
非心臓手術 …… 232
非ステロイド性抗炎症薬

(NSAIDs)	330
非電解質溶液	266
泌尿器科手術	948
泌尿器科周術期感染予防	942
泌尿器科における実例	917
肥満	増 241
被膜下腎摘除	増 195
被膜欠損	増 210
紐付き尿管ステント	増 051
標的型薬物放出システム	490
病理	24
貧血	260

ふ

フェントラミン	増 078
フルニエ壊疽	372
フレイルスクリーニング	1130
プレステント	増 038
プロステートヘルス インデックス	6
プロセス・アウトカム評価	806
不完全尿閉	349
不適格症例	734
不適切なマスターベーション	1078
婦人科疾患	114
深い術野への対処	増 200
副腎	増 086
副腎腫瘍	増 080
副腎皮質過形成	912
福祉用具	586
腹圧性尿失禁	126, 増 252, 増 255
腹腔鏡下/ロボット支援 腎摘除術	増 101, 増 104
腹腔鏡下手術	増 128, 増 131
腹腔鏡下腎摘除	増 093
腹腔鏡下仙骨腔固定術 (LSC)	142
腹腔鏡下側方固定術 (LLS)	150
腹腔鏡下ドナー腎採取術	増 141, 増 143
腹腔鏡下副腎摘除術	728, 増 080, 増 084
腹腔鏡下ペクトペクシー	150
腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術	860
腹腔鏡手術	170, 183, 756, 増 078, 増 090

腹部単純 CT	330
腹膜鞘状突起	838
腹膜浸潤	増 104
腹膜損傷	増 106
複雑性腎盂腎炎	319
吻合部狭窄	増 139, 増 208
吻合部破綻	増 136
吻合部縫合不全	増 133
分子イメージング	82
分子サブタイプ	442
分子標的薬副作用	383

へ

併存疾患	1030
閉経関連尿路性器症候群 (GSM)	178
閉鎖神経損傷	増 159
閉塞性乾性性亀頭炎	増 263
閉塞性無精子症 (OA)	1088
便秘	580

ほ

ホルミウム・ヤグレーザー前立腺 核出術 (HoLEP)	増 022
ボツリヌス毒素	530
ボツリヌス毒素膀胱壁注入療法	120
ボツリヌス療法	1176
ボートドッキングフリー	638
保険収載プロセス	917
保険診療	406, 708
保険診療の拡充	1036
包茎	824, 増 260
放射線性膀胱炎	増 231
放射線治療後の局所再発	64
乏精子症	1062
膀胱	増 212
膀胱炎	1101
膀胱カフ切除	682
膀胱外傷	342
膀胱拡大術	886
膀胱癌	442, 778, 増 034, 増 036, 増 241
膀胱癌病理	434
膀胱頸部温存	増 153, 増 156
膀胱頸部開大	増 153, 増 156
膀胱頸部形成	増 153, 増 156
膀胱三角部	増 239

膀胱腫瘍	増 028, 増 031
膀胱全摘	増 246
膀胱全摘除術	770, 増 233
膀胱損傷	増 239
膀胱タンポナーデ	260, 337
膀胱陰瘻	170, 増 236
膀胱尿管逆流 (VUR)	860, 増 304
膀胱尿管新吻合術後合併症	増 302
膀胱皮膚瘻	552
膀胱閉鎖	891
膀胱瘻	349
膀胱瘻造設	増 014

ま

マイクロバイオーム	1136
マルチパラメトリック MRI	16
マルチモーダル鎮痛	202
埋没陰茎	824
慢性炎症 (inflammation)	1130

み

右副腎中心静脈	増 192
右副腎摘除術	増 082

む

無気肺	238
無症候性細菌尿	1004

め

メカニズム	1170
免疫関連有害事象 (irAE)	389
免疫チェックポイント阻害薬 (ICI)	389, 434, 448, 490, 1101

や

薬物療法	518
------------	-----

ゆ

癒着	増 143
癒着剝離	増 176
遊離グラフト	増 269

よ

予防抗菌薬	936, 964, 976, 988
予防抗菌薬投与	992

ら

卵胞刺激ホルモン (FSH) … 1068

り

リアルワールドデータ … 454, 460
リスク症例 … 970
リングリトラクター … 増 236
リンパ管造影 … 1097
リンパ節郭清 … 682, 増 166
リンパ嚢腫 … 増 166
リンパ漏 … 増 214
粒子線治療 … 64
療養担当規則 … 708
臨床 … 1170
臨床応用 … 442

ろ

ロボット支援下手術 … 増 128, 増 131
ロボット支援下尿管全摘除術 (RANU) … 682, 764
ロボット支援下仙骨腔固定術 (RASC) … 162, 694
ロボット支援根治的腎摘除術 … 738
ロボット支援根治的膀胱全摘除術 … 778
ロボット支援手術 … 624, 658, 666, 750, 792, 増 090
ロボット支援腎盂形成術 … 744
ロボット支援腎摘除 … 増 093
ロボット支援腎部分切除術 (RAPN) … 増 111, 増 115, 増 117, 増 120
ロボット支援腎部分切除術 (RAPN) 後出血 … 248
ロボット支援前立腺全摘除術 (RARP) … 48, 254, 700, 798, 増 147, 増 151, 増 159, 増 163
ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術 … 676

ロボット支援腹腔鏡下仙骨腔固定術 … 786
ロボット支援副腎手術 … 650
ロボット支援副腎摘出術 … 728
ロボット支援膀胱全摘除術 (RARC) … 254, 688, 増 171, 増 173, 増 176, 増 179, 増 182
ロボット手術 … 630, 734, 756
ロボット手術後出血 … 248

数 字

95%信頼区間 … 474

英 字

AMBASSADOR 試験 … 484
basket 鉗子 … 増 072
BCG 膀胱炎 … 395
Boari 法 … 増 226
CheckMate274 試験 … 484
crossing point … 増 045
cT3 … 666
ctDNA … 484
cTESE … 1094
Dartos pouch … 838
da Vinci SP … 616
Dismembered 法 … 854
DNA 断片化率 (DFI) … 1056
Dorsal onlay 法 … 増 269
DPC (diagnosis procedure combination) 制度 … 806, 1010
DPC/PDPS (per-diem payment system) … 1010, 1194
dusting … 増 054
early unclamping … 増 123
Energy-Based Devices … 178
epidemiological survey … 1124
EVP 療法 … 増 198
extra arm … 162
FGFR 阻害薬 … 468
floppy diaphragm sign … 増 098
Geriatric Assessment (GA) … 76
hinotoriTM … 764

hinotoriTM ロボットサージカル システム … 624
HugoTM RAS システム … 630
ICG … 増 223
inflammation … 1130
LUNATM … 644
Makler chamber … 1048
modified tubed transverse preputial island flap 法 (tubed TPIF 変法) … 904
MRI … 34
NANC (non-adrenergic, non-cholinergic) 因子 … 1164
non-cholinergic 収縮 … 1164
numeric rating scale (NRS) … 202
ORIHOME[®] … 134
polytetrafluoroethylene (PTFE) … 134
psaos hitch 法 … 増 226, 増 229
psaos window … 増 088
qSOFA [quick sequential (sepsis-related) organ failure assessment] … 319
Regionalized surgery … 616
renorrhaphy (腎実質縫合) … 増 126
S2,3PSA%検査 … 6
Saroa … 48, 638
Senhance[®] … 644
Total Urogenital Mobilization … 898
TOT 手術 … 126
TUR 症候群 … 266
TVM 手術 … 134, 増 257
TVT … 増 252
TVT 手術 … 126, 増 255
urinoma (尿瘻) … 増 126
URS … 増 042
vNOTES … 156
Wideband Doppler 超音波 … 増 066
 β_3 受容体作動薬 … 1148